



2011年10月28日

各 位

会社名 日立電線株式会社  
代表者 執行役社長 高橋 秀明  
(コード番号 5812 東証・大証1部)  
問合せ先 ビジネスサポート本部  
人事総務部門総務部長  
木暮 正一  
(TEL. 03-6381-1050)

## 国内銅管事業からの撤退について

日立電線株式会社は、2012年3月末をもって国内における銅管の開発、製造及び販売から撤退することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 撤退の理由

当社グループでは、中期経営計画「リニューアル・プラン“BRIDGE”」に基づく事業構造改革を進めております。

国内の銅管需要は、2010年度は猛暑によるエアコン需要の増加を受けて好調でしたが、2011年度夏以降は需要が急激に減少しております。また、国内市場の成熟と円高の進行により需要家が海外にシフトしていることや、輸入品比率の増加により市場競争が激しいものとなっていること等から、将来的な収益の確保が困難なものと判断いたしました。このような状況を踏まえ、当社グループでは国内における銅管の開発、製造及び販売から撤退することといたしました。

#### 2. 撤退事業の概要

##### (1) 国内銅管事業の内容

- ① 事業内容：国内における銅管の開発、製造及び販売
- ② 製造拠点：日立電線株式会社 土浦工場
- ③ 製造拠点所在地：茨城県土浦市木田余町 3550

##### (2) 国内銅管事業の売上高

	銅管事業(a)	2011年3月期連結実績(b)	比率(a/b)
売上高	17,763 百万円	419,279 百万円	4.2%

##### (3) 国内銅管事業に属する従業員及び資産等の取扱い

当該部門に関わる従業員については、社内でのシフトを行うほか、国内グループ全体で計画中の人員適正化のなかで、社外出向・転籍の促進、早期退職・転職支援制度の導入といった施策を進めてまいります。これらの施策を進めていくことで当社グループ全体の人員の適正化を図ってまいります。

当該部門に関わる資産は、その一部を住友軽金属工業グループへの売却の検討を進める予定です。詳細につきましては同社と協議を進めております。

### 3. 日程

2012年3月末の撤退完了を目処とします。

### 4. 今後の見通し

国内における銅管の開発、製造及び販売からの撤退が2012年3月期の業績に与える影響は軽微であると考えており、本件を含めた2012年3月期通期の業績予想は本日「特別損失の計上及び第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異、並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」として公表しております。

また、2013年3月期以降の業績に与える影響につきましては、撤退の進捗にあわせて、今後、精査してまいります。

以 上

#### (注意事項)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。